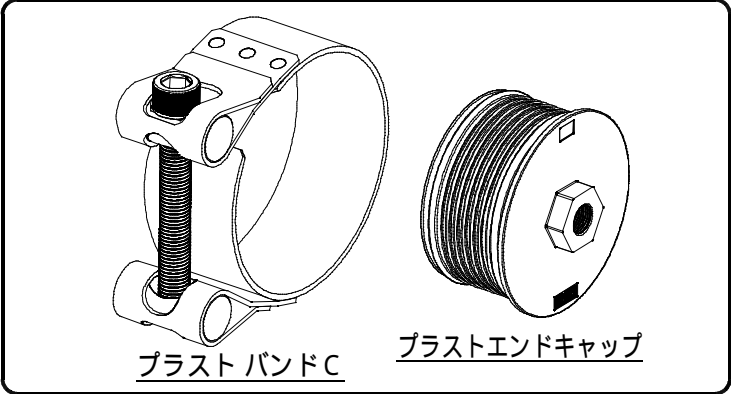


# プラストプロ 水圧テスト用 取扱説明書



取り付け作業を行う前に必ず『安全上のご注意』をお読みのうえ『施工手順書』に従って正しくご使用ください。  
なお、ご不明な点がございましたら当社ホームページまたは下記の営業所にお問い合わせください。

## ショーボンドマテリアル株式会社

東京事業所：〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町7-8  
TEL.03-6861-7411 FAX.03-6861-7421

大阪事業所：〒536-0022 大阪市城東区永田3-12-15  
TEL.06-6965-7235 FAX.06-6965-7236

H P アドレス：http://www.sb-material.co.jp/

### 安全上のご注意【必ずお守りください】

この取扱説明書では、製品を安全に正しくご使用いただき、人的危害や財産への損害を防止するため、遵守いただきたい事項を記載しております。

絵記号の意味

	<b>注意</b>	注意（危険・警告を含む）を促す事項
	<b>禁止</b>	決しておこなってはいけない禁止事項
	<b>強制</b>	必ずおこなっていただく強制事項

- 警告** 記載事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
- 強制** 使用できるPE管は【JWWA K 144(PTC K 03)】、【PWA 001】の規格に対応した管のみです。
- 強制** 本体は構造上、鋭利な箇所がありますので必ず、作業用手袋等の保護具着用し作業を行ってください。
- 禁止** 製品を取り外す際、配管内の圧力がゼロであることが確認できるまで、絶対にボルトを緩めないでください。
- 強制** 水（温度：0～40℃）以外の流体を使用しないでください。
- 強制** 使用圧力が適用範囲内であることを確認してください。
- 強制** 圧力を加える場合、空気などの気体は使用せず、必ず水で行ってください。
- 強制** 通水試験は管内の空気を完全に除去した状態で行ってください。

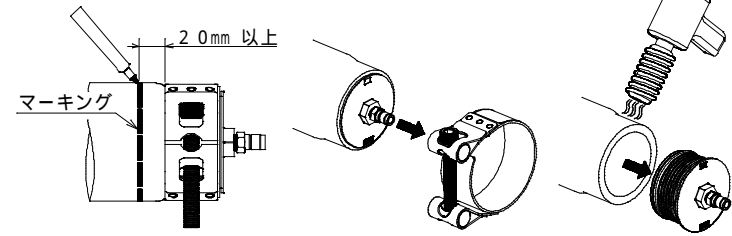
## プラストプロ取り外し手順

パイプを切断するため、バンドの端部から2.0mm以上離れたところに切断位置のマーキングを行います。

ボルトを緩めバンドを取り外します。

製品を取り外す際、配管内の圧力がゼロであることが確認できるまで、絶対にボルトを緩めないでください。

エンドキャップを取り外します。エンドキャップが外れない場合は電気式ヒートガンなどを使ってパイプを加熱し、パイプを膨張させてコアを取り外します。



パイプを加熱する際、ガス式バーナーなどの直火はパイプや製品を損傷させるため、絶対に使用しないでください。

マーキングの位置でパイプを切断します。

取り外したバンドとエンドキャップの汚れを取り除き、ボルトのネジ部と首下にグリスを適量塗布してからビニール袋などに入れて保管してください。

本製品の使い回し限度は5回です。回数制限を遵守し回数制限に達した製品は廃棄して、バンドとエンドキャップはセットで新しい物と交換してください。

**警告** 記載事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 強制** 本製品の使い回し限度は5回です。回数制限を遵守し回数制限に達した製品は廃棄して、バンドとエンドキャップはセットで新しい物と交換してください。
- 禁止** 使用者は構成部品の組替を当社の許可無く行わないでください。

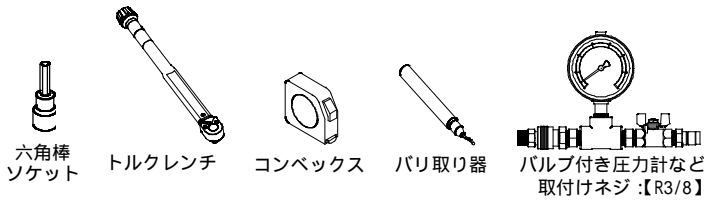
**注意** 記載事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があります。

- 禁止** 打痕やキズなど変形の原因になりますので落としたり、投げたり、叩くなどして乱暴に扱わないでください。
- 強制** 直射日光の当たる場所やほこりが多い場所、及び振動が激しい場所には保管・放置しないでください。
- 強制** ボルトの締め付けには必ずトルクレンチをご使用いただき、当社が規定するトルク値にて締め付けてください。（締め付け量の不足による漏洩や、締め付け過ぎによりボルトが破断する原因になります。）
- 強制** 繰返し使用をする際は、ボルトの座面とネジ部にグリスを適量塗布してからご使用ください。
- 禁止** パイプを加熱する際、バーナーなどの直火はパイプや製品を損傷させるため絶対に使用しないでください。
- 注意** PE管の温めに使用するヒートガンなどの工具は使用前に取扱説明書をよく読み、やけどなどのケガに十分注意してご使用ください。

# 施工手順書

## 1 作業前の準備

### 取り付けに必要な道具類

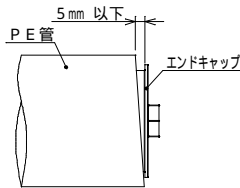


- スバナ【30mm】・・・1個
- スバナ【圧力計取付け用】・・・1個

【その他】・・・シールテープ

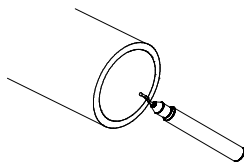
### パイプ切断面の確認

- パイプを切断した場合、切断面とエンドキャップ端面との隙間が5mm以下であれば、そのまま施工できます。
- 5mmを超える場合は、管の切断をやり直してください。



### パイプの清掃

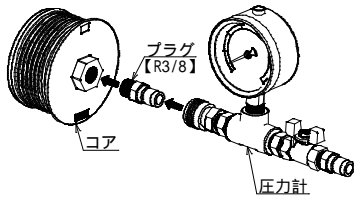
- 切断時のバリや切りくずを取り除きます。



### 圧力計の取り付け

- スバナを使用してエンドキャップに圧力計を取付けます。
- 取付けネジは R3/8【オス】です。

ワンタッチ式のプラグなどを装着しておくとう便利です。

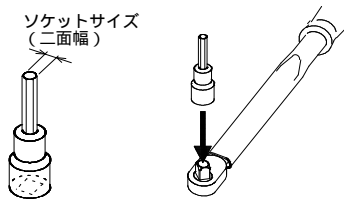


## 2 トルクレンチのセット

### 六角ソケットの取り付け

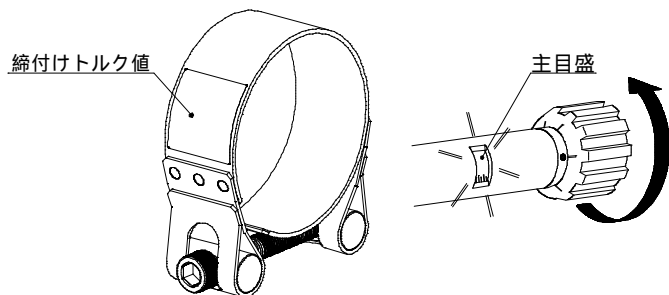
- ソケットはボルトのサイズによって異なります。

呼び径	ソケットサイズ
50 / 75	10 mm
100 / 150	14 mm



### トルク値の設定

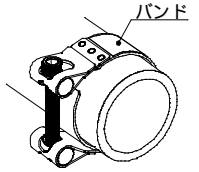
- バンドのラベルに表示されている『締付けトルク値』とトルクレンチの主目盛を合わせます。



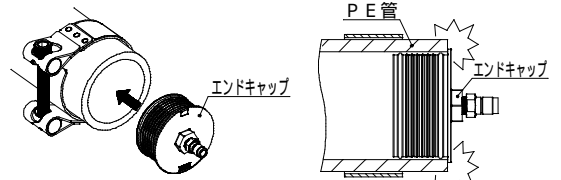
詳しくはトルクレンチの取扱説明書をご覧ください。

## 3 プラストプロの取付け

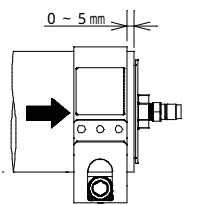
ポリエチレン管にバンドを通しておきます。バンドはそのままの状態ですり込みますのでボルトを緩める必要はありません。



エンドキャップがパイプの端面に突き当たるまで挿入します。



バンドの端部がパイプの端部から 0 ~ 5 mm の間に来る位置にセットします。

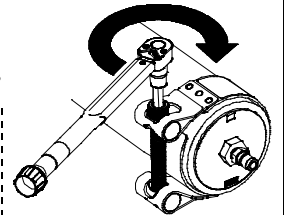


## 4 ボルトの締付け

- トルクレンチを使用して片手でエンドキャップを支えながらエンドキャップが動かなくなる程度までボルトを締付けます。

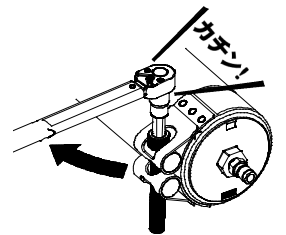


バンドとエンドキャップが所定の位置からズレていないことを確認してください。位置がズレていた場合はボルトを緩め、位置を修正した後、再度締付けを行ってください。



### 締付け作業完了

- 所定のトルク値に達するまでボルトを締付けます。設定したトルク値になると、トルクレンチが『カチン!』と合図します。

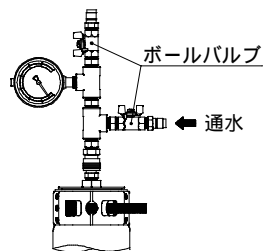


## 5 水圧テスト

- 試験区間の通水は、管内の空気を除去しながら行い、満水になったら端部に取付けたバルブを閉じます。



水圧テストは、必ず管内の空気を除去し満水状態で行ってください。



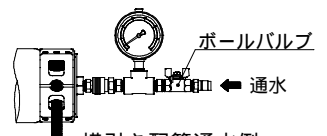
立て配管通水例

### 立て配管の通水例

- 管内のエア抜きは、上部のバルブにて行ってください。

### 横引き配管の通水例

- 管内のエア抜きは、管路のエア抜き弁で行なってください。



横引き配管通水例